

令和 5 年 5 月 29 日現在

機関番号：12601

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06408

研究課題名（和文）アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築

研究課題名（英文）A chrono-spatial framework for the emergence of modern humans and their cultures in Asia

研究代表者

西秋 良宏（Nishiaki, Yoshihiro）

東京大学・総合研究博物館・教授

研究者番号：70256197

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 91,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、旧人や新人がアジア各地に残した各種の証拠を集成し、新人が拡散したルート、時期に関する地理的編年的枠組みを構築することであった。そのため、新人の拡散・定着期（約20-2万年前）の遺跡や年代、発見物についてのデータベースを作成することを目指した。既刊文献の整理、アジア各地における独自の野外調査、さらには、得られたサンプルの広範な年代測定などを実施した結果、旧大陸3300遺跡以上、8000近い文化層のデータを登載する国際的にもきわめてユニークな「パレオアジアDB」を完成することができた。これを用いて、地理的編年的枠組みに関わる国際的な学術論文を多数、出版した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

計画研究A01は、考古学的な編年基盤を提供することを目的とした。すなわち、20-30万年前頃のアフリカ大陸で誕生したホモ・サピエンス（新人）がいつ、どのようにアジアに拡散し定着したか、その地理的変異がどのように生じたのかを文化史的観点から論じるには、各地の遺跡の編年が欠かせない。そのために、知られている諸遺跡の関係データを整理統合したのがパレオアジアDBである。このデータベースは本領域の研究基盤として機能した。完全英文仕様であり、2023年には国際出版社から刊行されるほか、インターネット公開の予定でもある。学術界のみならず関心ある社会一般にもインパクトをなすと確信する。

研究成果の概要（英文）：This research developed an extensive archaeological database that covers the Middle and Upper Paleolithic sites of Asia in the period ca. 200 to ;20 ka, spanning the time when modern humans (Homo sapiens) is known to have made dispersals from Africa into Asia. The database comprises a list of related sites, their geographic co-ordinates, and information about stratigraphy, dates, and finds including fossil and lithic remains. It helped us establish a spatial and chronological framework of to facilitate investigating variability in cultural dynamism around the time of arrivals of modern humans in Asia. This project eventually produced a large original database, PaleoAsiaDB, which registered more than 3000 sites and nearly 8000 cultural assemblages. The analysis of this database yielded a number of research articles to provide with a reliable spatio-temporal framework to meet our research targets.

研究分野：先史考古学

キーワード：考古学 人類進化 旧石器時代 ホモ・サピエンス 遺跡編年 ネアンデルタール人 新人アフリカ起源説 現代人的行動

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

解剖学的な新人(ホモ・サピエンス)が約20万年あるいはそれ以前にアフリカで誕生したことは研究開始当ても認められていた。しかしながら、その後、いかにしてユーラシア各地に拡がったか、あるいは、拡散先で先住の旧人、原人らといかに対峙したかの具体像については不明のままである。特に不明の点が多かったのがアジアである。

その原因はいくつもある。例えば、先進諸国が手がけるヨーロッパと比べてはるかに先端研究が遅れていること。加えて、アジアの状況には当時から複雑であった可能性が高いこと。ヨーロッパの先住人類と言えばネアンデルタール人であるが、アジアにはネアンデルタール人に加えてデニソワ人がいたことが確実である。また、原人が生存していた可能性についても喧伝されていた。さらに言えば、誕生直後の新人が既にアジアに展開しており、4~5万年前に拡散した新人と出会ったという可能性も指摘されていた。

この見取り図不在の状況を打破するには、既存データの徹底的な収集による現状整理、そして、特にデータ不足地域においては新たな現地調査や現地研究者との連携が必須である。本計画研究では、それに取り組むこととした。

## 2. 研究の目的

広大なアジアにおいて新人は、いかに拡散・定着し、在地の自然、旧人社会に適応しつつ彼らの文化を形成したのか。その解明には、各地における新人化石と新人文化の出現を、それぞれ信頼できる地理的編年的枠組みの中に位置づけることが出発点となる。

本研究の第一の目的は、それらを裏付ける地理的編年的枠組み作りであった。収集したデータはパレオアジア・データベース(PaleoAsiaDB)に格納し、領域参加者に提供することとした。

第二は、このデータベースを用いた分析を展開すること、すなわち地理的編年的枠組みの提示である。これをもって、具体的には、下記の諸点を明らかにすることを目指した。

### (1) 新人の生物学的定着と文化的定着との関係

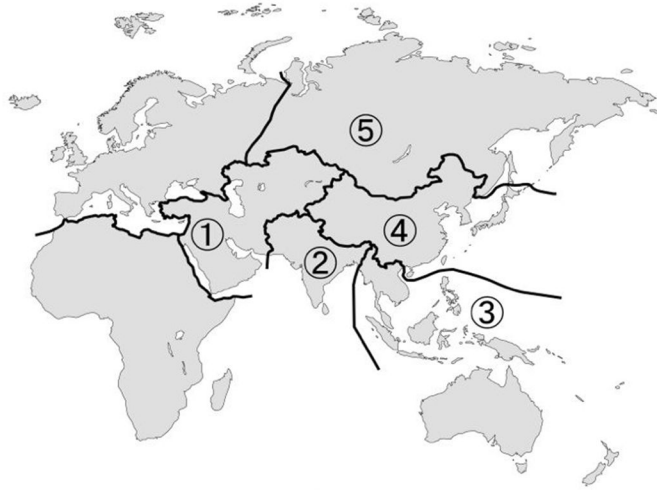
予備的所見によれば、アジアへ新人が拡散した際、拡散先の文化におこったパターンは三つあったと見られる。在地の旧人文化を駆逐して新人文化が定着した場合(交替)、新人文化と旧人文化が融合した場合(交流)、旧人文化の多くが新人に受け継がれた場合(連続)である。それらのパターンが確かに存在しているかどうか検証することがまずは問題となった。そこで、組織的な文献収集による考古学的証拠、領域諸班の野外調査、各地資料の年代測定によって得られたデータを統合してアジア各地の文化史編年を組み立て、それが人骨化石の証拠と整合するのかどうか検討した。

### (2) アジア新人文化形成プロセスの多様性の提示と解釈

上記の研究で認められたパターンの地理的多様性を定義し、そのような多様性がうまれた背景を、領域諸班との議論をふまえて解釈することとした。

## 3. 研究の方法

アジア一帯を対象として、新人拡散・定着期(約10万~2万年前)の遺跡や出土物、人骨化石、年代などの考古学的情報を網羅したアジア旧石器情報データベースPaleoAsiaDBを構築し

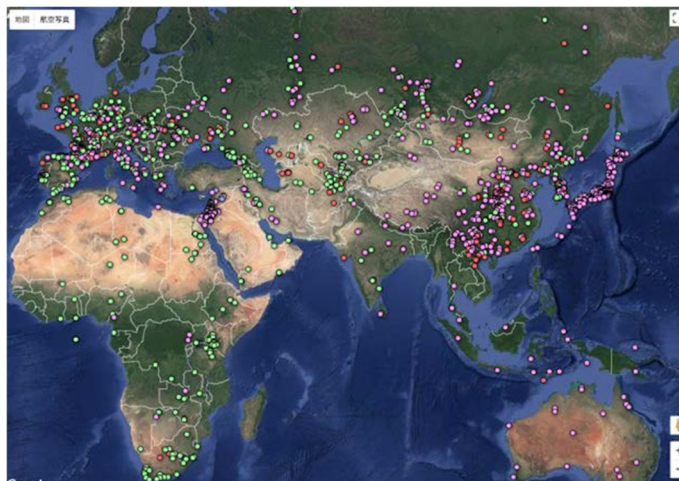


た。データ入力の基本スキームは総括班の専門家とともに構築した。それに沿ってデータ収集をおこなった。作業にあたっては、地域・内容にしたがい、左図のようにアジアを地域区分し、担当者が大学院生らとチームを作ってあたった。①西アジア/中央アジア②南アジア③東南アジア④東アジア⑤北アジア。また、人骨化石や年代データについて他の研究者があたった。

このデータベースの構築はもっぱら関連する文献収集によったものである。しかしながら、文献には十分に記載されていない細部、あるいは自らの現地調査によって最新情報が入手できる場合は、現地に渡航してデータを入手することとした。また、国際活動支援班が構築するアジア文化史学ネットワークを活用し必要なデータを入手するよう努めた。

#### 4. 研究成果

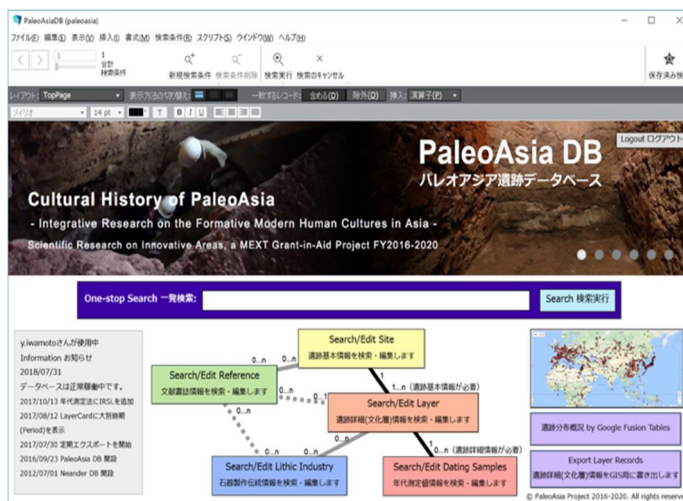
##### (1)パレオアジアデータベースの構築



情報収集は、上述の分担にしたがって実施した。国内では入手困難な文献の多い東ヨーロッパ、旧ソビエト圏、東南アジアの文献については現地渡航し、あるいは現地研究者とのネットワークを活用して情報を集めた。

また、ネットワークを活用しアジア各地、あるいはアジア出土品を収蔵している欧米機関を訪れ資料調査を実施し、文化編年を整備するなどしたほか、アジア諸地域の機関と連携して年代測定試料を入手し、年代を求めた。

また、新人のアジア拡散はヒマラヤ山脈の北と南、大別して二つのルートがあったと想定される。分岐点のイラン、北の玄関口ウズベキスタンのような重要地域については、関係遺跡の層位的発掘を実施し、編年資料（石器、年代測定試料等）を入手した。その解析をもって、地域を

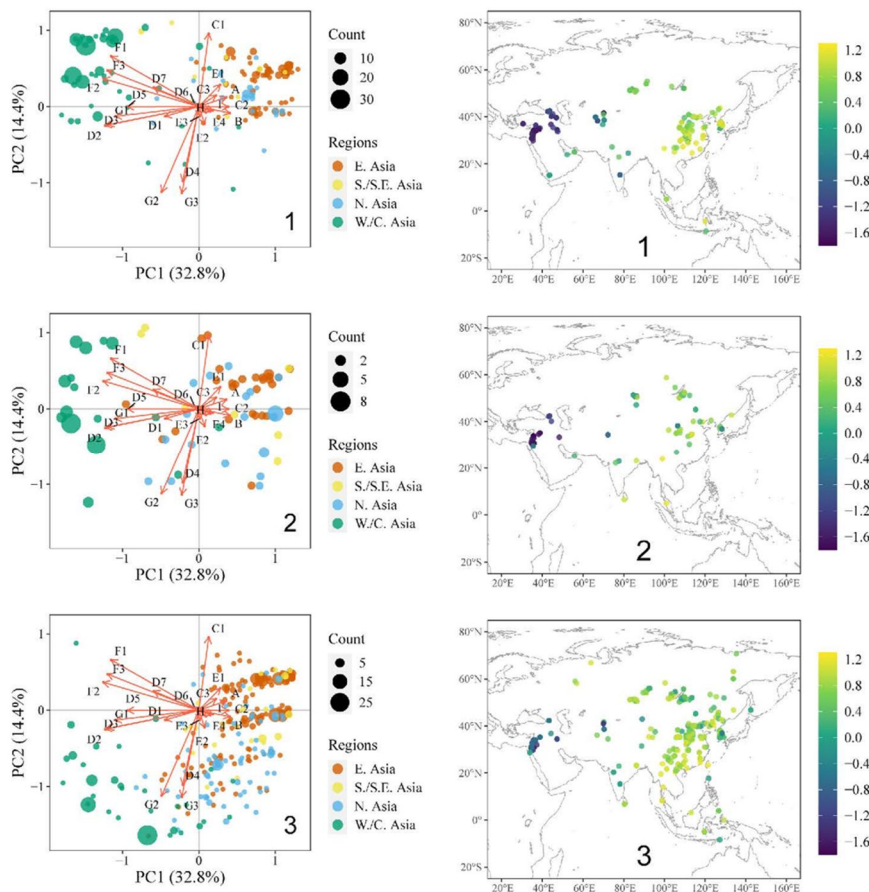


代表する基本編年を確立することを試みた。

その結果、前ページの二つの図に示すようなパレオアジアDBを構築することができた。現在もなおデータ登録が続いているが、ひとまず2023年3月時における遺跡数約3500、文化層8000弱、総データネトリ-数数十万点のデータベースができあがった。

## (2)パレオアジアデータベースを用いた地理的編年的枠組みの構築

このデータベースを実際に用いて、各地の編年的枠組みについての研究論文を提示することができた。特に重要なのは、従来考古学的編年が不確かであった地域、例えば、東アジアや東北アジアについて編年案を示し得たことである (Kato 2022; Takakura 2022)。



これに加えて、各遺跡の当該層準から得られた石器群の技術的違いをあらかじめ定めたスキームにしたがって多変量解析したのが左図である (Nishiaki et al.

2021)。

1は新人のアジア拡散前 (~4.5万年前)、2が拡散期、3が拡散後についてである (4万年前~)。図の色の違いは石器技術の相対的違いを示すものである。新人拡散期にあっても東西差は維持されて

いる。同時にアジアにおいても東北アジアと東南アジアの違いが認められる。要は、西アジア、東北アジア、東南アジアにおいて、ヒトの交替 (ネアンデルタール人、デニソワ人、現生人類など) に関わらず、地域間の文化的違いが維持されていたことを示している。

そうした違いは自然環境の違いを明らかに反映している。すなわち、ヒトの種の違いに関わらず、自然環境への適応は、技術の違いに現れている。この点は、人類「種」の違いと無関係である点、本領域研究の全体テーマの解釈において重要な提言をなすこととなった。

## 文献

- Kato, S. (2021) The cultural sequence of the Middle and Upper Paleolithic in northern China. *Quaternary International* 596: 54–63.
- Takakura, J. (2021) Towards improved identification of obsidian microblade and microblade-like debitage knapping techniques. *Quaternary International* 596: 65–78.
- Nishiaki, Y., K. Tamura, M. Suzuki, M. Nakamura, S. Kato, K. Nakagawa, J. Takakura, T. Yamaoka, A. Noguchi, Y. Kondo, and Y. Kobayashi (2021) A spatiotemporal variability in lithic technology of Middle-to-Upper Paleolithic Asia. *Quaternary International* 596: 144–154

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計115件（うち査読付論文 76件 / うち国際共著 32件 / うちオープンアクセス 23件）

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 29
2. 論文標題 第29回西アジア発掘調査報告会の開催にあたって	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 i-ii
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 29
2. 論文標題 中央アジア山岳地帯の新石器時代 ウズベキスタン、カイナル・カマル遺跡の調査（2012-2019年）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 西秋良宏・ヤコブ ママドフ・ウルビア ヘイダロヴァ・三木健裕・仲田大人・新井オニ・池山史華・田辺 勘太郎・宮井しづか	4. 巻 30
2. 論文標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第13次発掘調査（2022年）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 第30回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 松井孝典・西秋良宏・下釜和也・ジェラルド ウルダール・森脇涼太・多田賢弘・鈴木健太・新井オニ	4. 巻 30
2. 論文標題 南東アナトリア先土器新石器時代の丘上遺跡-ハルベトスワン・テベシ遺跡の第一次調査（2022年）-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 第30回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 9-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -



1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro	4. 巻 87
2. 論文標題 The Pre-Pottery Neolithic Water-well at Tell Seker al-Aheimar, Upper Mesopotamia: The Social Contexts of its Construction and Management	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the Prehistoric Society	6. 最初と最後の頁 161 ~ 172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/ppr.2021.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato Shinji	4. 巻 596
2. 論文標題 The cultural sequence of the Middle and Upper Palaeolithic in northern China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 54 ~ 64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.03.042	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato Shinji	4. 巻 125
2. 論文標題 Quelques considerations sur la relation entre le Paleolithique chinois et le Paleolithique japonais	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 L'Anthropologie	6. 最初と最後の頁 102963 ~ 102963
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anthro.2021.102963	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato Shinji	4. 巻 41
2. 論文標題 Upper Paleolithic human dispersals and cultural diffusions in Far Eastern Eurasia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『人類学学報』	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.16359/j.1000-3193/AAS.2022.0012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaoka Takuya, Sato Hiroyuki, Mijares Armand Salvador	4. 巻 596
2. 論文標題 Multifaceted analyses of lithic artifacts from Callao Cave in northern Luzon (Philippines)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 93 ~ 108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.01.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirose Masato, Naito Yuichi I., Kadowaki Seiji, Arai Saiji, Guliyev Farhad, Nishiaki Yoshihiro	4. 巻 36
2. 論文標題 Investigating early husbandry strategies in the southern Caucasus: intra-tooth sequential carbon and oxygen isotope analysis of Neolithic goats, sheep, and cattle from Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science: Reports	6. 最初と最後の頁 102869 ~ 102869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2021.102869	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Kadowaki Seiji	4. 巻 596
2. 論文標題 Variability in Lithic Production Technology during the Range Expansion of Paleolithic Modern Humans: Asian Perspectives	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1 ~ 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Aripdjanov Otabek, Arai Saiji, Akashi Chie, Nakata Hiroto, Sayfullayev Bakhtiyor, Ergashev Odil, Suleimanov Rustam	4. 巻 30
2. 論文標題 Neolithization during the 6th millennium BCE in western Central Asia: New evidence from Kaynar Kamar Rockshelter, Hissar Mountains, Southeast Uzbekistan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100352 ~ 100352
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2022.100352	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Zeynalov Azad, Munsrov Mansur, Guliyev Farhad	4. 巻 64
2. 論文標題 RADIOCARBON CHRONOLOGY OF THE MESOLITHIC-NEOLITHIC SEQUENCE AT DAMJILI CAVE, AZERBAIJAN, SOUTHERN CAUCASUS	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 309 ~ 322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/RDC.2022.12	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro	4. 巻 48(2)
2. 論文標題 Early Neolithic Chronology and Lithic Industry of Tepe Abdul Hosein, Central Zagros, Iran	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/paleorient.1858	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeyama, F., F. Guliyev and Y. Nishiaki	4. 巻 57
2. 論文標題 Variability in Obsidian Pressure Blade Technology of the Neolithic Southern Caucasus: New Data from Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe, Azerbaijan.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 125-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Kanjou Yousef, Akazawa Takeru	4. 巻 126
2. 論文標題 The Early Middle Palaeolithic lithic industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 L'Anthropologie	6. 最初と最後の頁 103028 ~ 103028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anthro.2022.103028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 井上雅也・中原康介・山岡拓也	4. 巻 53
2. 論文標題 縄文時代中期における神津島産黒曜石の分布とその特徴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 静岡県考古学研究	6. 最初と最後の頁 85-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也・井上雅也	4. 巻 2021
2. 論文標題 静岡県浜松市北区滝沢鍾乳洞遺跡第5次調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 静岡大学人文社会科学部考古学研究室調査研究集報	6. 最初と最後の頁 3-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也・井上雅也	4. 巻 2021
2. 論文標題 石川県鳳珠郡能登町真脇遺跡XI層出土石槍の研究補遺	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 静岡大学人文社会科学部考古学研究室調査研究集報	6. 最初と最後の頁 17-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也	4. 巻 2022
2. 論文標題 「静岡県浜松市北区行者穴遺跡第2次調査」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 静岡大学人文社会科学部考古学研究室調査研究集報	6. 最初と最後の頁 3-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takehana K.	4. 巻 166
2. 論文標題 La chasse a la baleine chez les Ainous et leurs traditions prehistoriques dans l'archipel du Japon	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Les Nouvelles de l'Archeologie(Open-Edtion)	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹花和晴	4. 巻 86
2. 論文標題 東アジアにおける更新世の石器群に関する技術・類型学上の研究法、特に石器類型学について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 旧石器考古学	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹花和晴	4. 巻 87
2. 論文標題 中国河北省泥河湾盆地の馬圈溝遺跡におけるオルドヴァイ文化様相	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 旧石器考古学	6. 最初と最後の頁 23-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内越山詩子・麻柄一志・ト部厚志	4. 巻 41
2. 論文標題 魚津埋没林出土の縄文土器	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大境	6. 最初と最後の頁 49-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 志知幸治・酒井英男・卜部厚志・麻柄一志・能城修一	4. 巻 27
2. 論文標題 特別天然記念物魚津埋没林の堆積物における花粉および磁性分析に基づく縄文時代後期以降の植生変遷	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 情報考古学	6. 最初と最後の頁 11-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 出穂 雅実・戸塚 瞬翼・國木田 大・麻柄 一志・佐野 勝宏	4. 巻 18
2. 論文標題 富山県富山市直坂II遺跡第1・9ユニット出土石器群とAMS年代	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 113-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., A. Zeynalov, M. Mansrov, C. Akashi, S. Arai, K. Shimogama, and F. Guliyev	4. 巻 19
2. 論文標題 The Mesolithic-Neolithic interface in the Southern Caucasus: 2016-2017 excavations at Damjili Cave, West Azerbaijan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2019.100140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 ニューギニアの弓矢(II)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ウロボロス	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagaoka, T., H. Ishida, T. Tsurumoto, T. Wakebe, K. Saiki, and K. Hirata	4. 巻 26
2. 論文標題 A health crisis during the Japanese Medieval Period: A new paleodemographic perspective	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Paleopathology	6. 最初と最後の頁 145-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpp.2019.03.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 2
2. 論文標題 Neolithic-Chalcolithic transition in Southwest Iran: Examining blade production technology at Tall-i Bakun B, Fars.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Archaeology, Iran	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤司千恵・門脇誠二・F. キリエフ・西秋良宏	4. 巻 28
2. 論文標題 アゼルバイジャンにおけるヨモギ属 ( <i>Artemisia</i> spp.) 利用史	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 赤司千恵・西秋良宏・F. キリエフ	4. 巻 28
2. 論文標題 巻頭写真: ギョイトペ遺跡 (アゼルバイジャン・日本による共同発掘調査)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 737
2. 論文標題 アゼルバイジャン考古学事情	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 24-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤真二	4. 巻 15
2. 論文標題 中国の旧石器-その石器群類型と編年-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 91-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上峯篤史	4. 巻 70
2. 論文標題 旧石器時代研究の動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本考古学年報	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也	4. 巻 15
2. 論文標題 東京都府中市武蔵台遺跡から出土した剥片に残された剥離痕	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 147-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 15
2. 論文標題 長野県上水郡信濃町大久保南遺跡出土石器群における石刃剥離方法の同定	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 123-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gakuhari, T., S. Nakagome, S. Rasmussen, M. E. Allentoft, T. Sato, T. Korneliusen..., and H. Oota	4. 巻 3
2. 論文標題 Ancient Jomon genome sequence analysis sheds light on migration patterns of early East Asian populations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-01162-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Itahashi, Y., A. Ananyevskaya, M. Yoneda, A. R. Ventresca Miller, Y. Nishiaki, and G. Motuzaitė Matuzeviciute	4. 巻 33
2. 論文標題 Dietary diversity of Bronze-Iron Age populations of Kazakhstan quantitatively estimated through the compound-specific nitrogen analysis of amino acids	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science Reports	6. 最初と最後の頁 102565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2020.102565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kataoka, K., H. Fujita, M. Isa, S. Gotoh, A. Arasaki, H. Ishida, and R. Kimura	4. 巻 11
2. 論文標題 The human EDAR 370V/A polymorphism affects tooth root morphology potentially through the modification of a reaction-diffusion system	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-84653-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsunami, M., K. Koganebuchi, M. Imamura, H. Ishida, R. Kimura, and S. Maeda	4. 巻 2021
2. 論文標題 Fine-scale genetic structure and demographic history in the Miyako Islands of the Ryukyu Archipelago	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Biology and Evolution	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/molbev/msab005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Aripdjanov	4. 巻 596
2. 論文標題 A new look at the Middle Palaeolithic lithic industry of Teshik Tash Cave, Uzbekistan, west Central Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 22-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2020.11.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., G. Abudl-Aziz, and N. Inutake	4. 巻 42
2. 論文標題 Restoration of a unique Neolithic clay female figurine from Tell Seker Al-Aheimar, Northeast Syria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 51-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., K. Tamura, M. Suzuki, M. Nakamura, S. Kato, K. Nakagawa, J. Takakura, T. Yamaoka, A. Noguchi, Y. Kondo, and Y. Kobayashi	4. 巻 596
2. 論文標題 A Spatiotemporal variability in lithic technology of Middle-to-Upper Paleolithic Asia: A new dataset and its statistical analyses	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 144-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.03.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiak. N. A. Mohammed, and K. Rasheed	4. 巻 2020
2. 論文標題 Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: New excavations at Shakar Tepe, 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neo-Lithics	6. 最初と最後の頁 53-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sawafuji, R., A. Saso, W. Suda, M. Hattori, and S. Ueda	4. 巻 15(3)
2. 論文標題 Ancient DNA analysis of food remains in human dental calculus from the Edo period, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0226654
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0226654	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takakura, J.	4. 巻 3(2)
2. 論文標題 Rethinking the disappearance of microblade technology in the terminal Pleistocene of Hokkaido, Northern Japan: Looking at archaeological and palaeoenvironmental evidence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary	6. 最初と最後の頁 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/quat3030021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaoka, T., H. Sato, and A. S. B. Mijares	4. 巻 596
2. 論文標題 Multifaceted analyses of lithic artifacts from Callao Cave in northern Luzon (Philippines)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.01.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 上峯篤史	4. 巻 2
2. 論文標題 存否問題のムコウ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 旧石器時代研究への視座	6. 最初と最後の頁 24-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24484/sitereports.86546	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上峯篤史・渡邊貴亮・金成太郎	4. 巻 85
2. 論文標題 京都府京丹後市経塚古墳出土の黒曜岩製石器	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 旧石器考古学	6. 最初と最後の頁 85-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤真二	4. 巻 32
2. 論文標題 中国の土器出現期	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上黒岩岩陰と縄文草創期 季刊考古学別冊	6. 最初と最後の頁 110-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤真二	4. 巻 100
2. 論文標題 華北地方における早期土器 その出現と拡散	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 物質文化	6. 最初と最後の頁 63-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤真二	4. 巻 2
2. 論文標題 ユーラシア東部の状況からみた旧石器文化の列島への拡散	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 旧石器時代研究への視座	6. 最初と最後の頁 42-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24484/sitereports.86546	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克	4. 巻 2
2. 論文標題 ユーラシア中央部の後期旧石器文化の拡散と列島最古の石刃石器群	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 旧石器時代研究への視座	6. 最初と最後の頁 38-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24484/sitereports.86546	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克	4. 巻 16
2. 論文標題 タジキスタン中期旧石器時代研究の現状と展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 19-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克	4. 巻 16
2. 論文標題 カザフスタン南部における 後期旧石器時代前期小石刃生産技術の様相 - ビリョックバスタウ・ブラック1 遺跡出土の小石刃核の徹底分析から -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 59-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克	4. 巻 46
2. 論文標題 長野県佐久市香坂山遺跡の発掘調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本旧石器学会ニュースレター	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克	4. 巻 477
2. 論文標題 巻頭グラビア 長野県佐久市香坂山遺跡	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文化財発掘出土情報	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克・芝康次郎	4. 巻 77
2. 論文標題 中央アジア旧石器調査成果の刊行	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 奈文研ニュース	6. 最初と最後の頁 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澤藤りかい・蔦谷 匠	4. 巻 128(1)
2. 論文標題 質量分析を利用したプロテオミクスの考古学・古人類学における応用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Anthropological Science (Japanese Series)	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/asj.200213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 50
2. 論文標題 峠下型細石刃核再考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本考古学	6. 最初と最後の頁 1-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 100
2. 論文標題 石器製作者の技量とその伝習過程への考古学的アプローチ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 物質文化	6. 最初と最後の頁 75-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 153
2. 論文標題 両面調整の尖頭器製作と円盤状石核	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 56-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 32
2. 論文標題 西アジアの旧石器・新石器時代移行期-レヴァント地方の場合	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上黒岩岩陰と縄文草創期 季刊考古学別冊	6. 最初と最後の頁 105-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也	4. 巻 2020年9月号
2. 論文標題 バスケットリーはどこまで遡るのか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月間みんぱく	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Maeda, T. Kannari, M. Nagai, E. Healey, F. Guliyev, and S. Campbell	4. 巻 61-4
2. 論文標題 Obsidian provenance analyses at Goytepe, Azerbaijan: Implications for understanding Neolithic socioeconomies in the Southern Caucasus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 765-782
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/arcm.12457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 special issue
2. 論文標題 Jezla: An Early-Middle Bronze Age site complex in the Middle Euphrates steppe, North Syria	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Orient, Mikasa Volume	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, B. Sayfullayev, O. Engeshed, E. Grodeeva, H. Nakata, S. Arai, A. Noguchi, and R. Suleymanov	4. 巻 40
2. 論文標題 Prehistoric caves and rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan (II).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 9-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 53
2. 論文標題 The Late Halafian lithic industry from Tell Kashkashok I, the Upper Khabur, Syria	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. and H. Darabi	4. 巻 16
2. 論文標題 The Earliest Neolithic Lithic Industries of the Central Zagros: New Evidence from East Chia Sabz, Western Iran	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 46-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., M. H. Taheri and A. Sardari	4. 巻 55
2. 論文標題 Lithic industry of the Early Chalcolithic in the southern Zagros: New insights from the Middle Bakun site of Tal-e Mash Karim, Iran.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ancient Near Eastern Studies	6. 最初と最後の頁 125-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2143/ANES.55.0.3284688	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akashi, C., K. Tanno, F. Guiliev, and Y. Nishiaki	4. 巻 44(2)
2. 論文標題 Neolithisation processes of the South Caucasus: as viewed from macro-botanical analyses at Hacı Elamxanlı Tepe, west Azerbaijan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する



1. 著者名 Motuzaitė Matuzeviciute, G., A. Abdykhanova, S. Kume, Y. Nishiaki, and K. Kubatbek Tabaldiev	4. 巻 20
2. 論文標題 The effect of geographical margins on cereal grain size variation: case study for highlands of Kyrgyzstan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Sciences: Reports	6. 最初と最後の頁 410-410
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2018.04.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero	4. 巻 474
2. 論文標題 Time uncertainty, site formation processes, and human behaviours: new insights on old issues in high-resolution archaeology.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 99-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2018.04.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito T, Kimura R, Ryukoden A, Tsuchiya N, Murayama S, Ishida H	4. 巻 126
2. 論文標題 Computed tomography examinations of surface and internal morphologies of the upper face in Ryukyu Islanders and mainland Japanese population	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 123-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/ase.180922	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hugh McColl, Fernando Racimo, Lasse Vinner, Fabrice Demeter, Takashi Gakuhari, ..., Hajime Ishida, ... Eske Willerslev	4. 巻 361(6397)
2. 論文標題 The prehistoric peopling of Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 88-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aat3628	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takakura, J.	4. 巻 59
2. 論文標題 Comments: How can we identify novice participation in peripheral activities?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Current Anthropology	6. 最初と最後の頁 734-735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takakura, J.	4. 巻 474
2. 論文標題 Lithic refitting and its implication for the integrity and duration of site occupation: the case of the Late Upper Paleolithic site of the Kiusu-5 in Hokkaido, Northern Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 156-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2018.03.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 37
2. 論文標題 飼い猫の始まり - 遺跡が伝える新石器時代の人猫交流	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 淡青	6. 最初と最後の頁 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 708
2. 論文標題 旧石器時代の時期区分	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 14
2. 論文標題 長崎県佐世保市福井洞窟出土石器群における剥離方法の同定 2012～2013年度発掘資料を対象として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 旧石器研究	6. 最初と最後の頁 65-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 V
2. 論文標題 忍路子型細石刃核における細石刃剥離方法の同定 北海道帯広市大空遺跡および更別村昭和遺跡出土資料の分析から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 論集忍路子	6. 最初と最後の頁 79-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高倉 純	4. 巻 154
2. 論文標題 黒曜石製石器資料を対象とした剥離技術研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 長野県考古学会誌	6. 最初と最後の頁 95-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, Y., T. Moriya, J. Takakura, F. Satoh, and T. Koike	4. 巻 20
2. 論文標題 Development of teaching materials for international course students on the ancient forest culture of the Hokkaido University Campus	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Eurasian Journal of Forest Research	6. 最初と最後の頁 27-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaoka, T.	4. 巻 442 Part B
2. 論文標題 Shooting and stabbing experiments using replicated trapezoids	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2016.08.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木崎小丸山遺跡学術発掘調査団 (松藤和人・上峯篤史・藪田みゆき・渡邊貴亮・呉谷有哉・朝井琢也・安岡早穂・山口誠司・岸本晴菜)	4. 巻 82
2. 論文標題 長野県木崎小丸山旧石器遺跡の研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 旧石器考古学	6. 最初と最後の頁 1-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki, S., K. Ohnishi, S. Arai, F. Guliyev and Y. Nishiaki	4. 巻 27
2. 論文標題 Mitochondrial DNA analysis of Neolithic goats in the southern Caucasus: implications for the domestication of goats in west Asia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Osteoarchaeology	6. 最初と最後の頁 245-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/oa.2534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 55
2. 論文標題 シリアからコーカサスへ 西アジア初期農耕の拡散を追って	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ORIENTE	6. 最初と最後の頁 10-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, S. Kadowaki, and T. Omori	4. 巻 474B
2. 論文標題 Neolithic residential patterns in the southern Caucasus: Radiocarbon analysis of rebuilding cycles of mudbrick architecture at Goytepe, west Azerbaijan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 119-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.09.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y. O. Aripdjanov, A. Rajabov, B. Sayfullayev, H. Nakata, S. Arai, and C. Akashi	4. 巻 38
2. 論文標題 Prehistoric caves and rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 708
2. 論文標題 旧石器時代の時期区分	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., M. Yoneda, Y. Kanjou and T. Akazawa	4. 巻 43 (2)
2. 論文標題 Natufian in the north: The Late Epipalaeolithic cultural entity at Dederiyeh Cave, northwest Syria	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 7-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 46
2. 論文標題 西アジア発, 『新石器革命』とその拡散	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 121-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有光秀行・浦野聡・西秋良宏・太田博樹・米田穰・中山一大	4. 巻 46
2. 論文標題 ゲノム研究は歴史を変える 西ユーラシアの農耕-牧畜・移動-定住研究の現在	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 172-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 141
2. 論文標題 現生人類到来以前の西アジア	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., T. Katsumura, S. Nakagome, S. Lee, K. Joh, H. Soejima, K. Fujimoto, R. Kimura, H. Ishida, T. Hanihara, A. Yasukouchi, Y. Satta, S. Higuchi, and H. Oota.	4. 巻 -
2. 論文標題 An ancestral haplotype of the human PERIOD2 gene associated with reduced sensitivity to light-induced melatonin suppression.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1317/journal.pone.0178373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y. and H. Darabi	4. 巻 16
2. 論文標題 The earliest Neolithic lithic industries of the Central Zagros: New evidence from East Chia Sabz, Western Iran	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 46-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukase, H., T. Ito, and H. Ishida	4. 巻 28
2. 論文標題 Geographic variation in nasal cavity form of three human groups from the Japanese Archipelago: its ecogeographic and functional implications.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 American Journal of Human Biology	6. 最初と最後の頁 343-351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajhb.22786	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganebuchi, K., K. Haneji, T. Toma, K. Joh, H. Soejima, K. Fujimoto, H. Ishida, M. Ogawa, T. Hanihara, S. Harada, S. Kawamura, and H. Oota	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 The allele frequency of ALDH2*Glu504Lys and ADH1B*Arg47His for the Ryukyu islanders and their history of expansion among East Asians.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 American Journal of Human Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajhb.2293.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagaoka, T., H. Ishida, and K. Hirata	4. 巻 405
2. 論文標題 Paleodemography of the early modern human skeletons from Kumejima (Okinawa, Japan).	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 222-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2014.11.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nakawaki, T., T. Yamaguchi, M. Isa, A. Kawaguchi, D. Tomita, Y. Hikita, Y. Suzuki-Tomoyasu, M. Adel, H. Ishida, K. Maki, and R. Kimura	4. 巻 87(1)
2. 論文標題 Growth hormone receptor gene variant and three-dimensional mandibular morphology.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Angle Orthodontist	6. 最初と最後の頁 68-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2319/02316-154.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. and S. Kume (eds.)	4. 巻 38
2. 論文標題 Preface	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 38
2. 論文標題 Domestic flake production technology of the Early Bronze Age in Upper Mesopotamia: Tell Ghanem Al-Ali (Syria) and Telul eth-Thalathat V (Iraq).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 47-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, R. Soleymanov, A. Rajabov, H. Nakata, T. Miki, and S. Arai	4. 巻 36
2. 論文標題 An archaeological reconnaissance survey of caves and rockshelters in the Kashkadarya Valley, South Uzbekistan, 2014.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bulletin of the Ancient Orient Museum	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto, Y., H. Ishida, R. Kimura, T. Sato, N. Tsuchiya, S. Murayama, H. Fukase, T. Nagaoka, N. Adachi, M. Yoneda, A. Weber, and H. Kato	4. 巻 142
2. 論文標題 An Okhotsk adult female human skeleton (11th/12th century AD) with possible SAPHO syndrome from Hamanaka 2 site, Rebun Island, northern Japan.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 107-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/ase.160608	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Somedo, H., T. Gakuhari, J. Akai, Y. Araki, T. Kodera, G. Tsumatori, Y. Kobayashi, S. Matsunaga, S. Abe, M. Hashimoto, M. Saito, M. Yoneda, and H. Ishida	4. 巻 261
2. 論文標題 Trial application of oxygen and carbon isotope analysis in tooth enamel for identification of past-war victims for discriminating between Japanese and US soldiers.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Forensic Science International	6. 最初と最後の頁 166.e1-166.e5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.forsciint.2016.02.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki, S., M. Sunagawa, M. Shindo, R. Kimura, K. Yamaguchi, T. Sato, M. Yoneda, T. Nagaoka, K. Saiki, T. Wakebe, K. Hirata, T. Tsurumoto, and H. Ishida	4. 巻 405
2. 論文標題 Degenerative changes in the appendicular joints of ancient human populations from the Japan Islands.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 147-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2015.03.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamauchi, T., R. Kimura, A. Kawaguchi, T. Sato, K. Yamaguchi, T. Toma, K. Miyamoto, H. Fukase, T. Yamaguchi, and H. Ishida	4. 巻 124
2. 論文標題 A comparative study of craniofacial measurements between Ryukyuan and mainland Japanese females using lateral cephalometric images.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 45-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/ase.151206	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也・橋詰 潤	4. 巻 2016
2. 論文標題 新潟県真人原遺跡D地点第6次調査	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 静岡大学人文社会科学部考古学研究室調査研究集報	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山岡拓也・橋詰 潤	4. 巻 2015
2. 論文標題 新潟県真人原遺跡D地点第5次調査	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 静岡大学人文社会科学部考古学研究室調査研究集報	6. 最初と最後の頁 3-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏・O.アリプジャノフ・R. スレイマノフ・B. セイフライエフ・O.エンゲシェッド・仲田大人・新井オニ	4. 巻 24
2. 論文標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第4次ウズベキスタン旧石器遺跡調査 (2016年)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 「考古学が語る古代オリエント-第24回西アジア発掘調査報告会」日本西アジア考古学会編	6. 最初と最後の頁 48-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏・F.キリエフ・A.ザイナロフ・M.マンソロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井オニ	4. 巻 24
2. 論文標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第9次発掘調査 (2016年)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 「考古学が語る古代オリエント-第24回西アジア発掘調査報告会」日本西アジア考古学会編	6. 最初と最後の頁 74-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 18
2. 論文標題 Techno-typological observations on the flaked stone industry of the early Neolithic settlement of Ganj Dareh, Iran. In: The Neolithic of the Iranian Plateau. Recent Research	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 SENEPSE	6. 最初と最後の頁 189-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uemine, A., K. Matsufuji and M. Shibara	4. 巻 3
2. 論文標題 Sedimentological Approach to the Sunaabara Early Palaeolithic Site in Japan.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bulletin of the Society for East Asian Archaeology	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松藤和人	4. 巻 687
2. 論文標題 総論 東アジア前・中期旧石器研究の最前線	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 月刊考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計302件 (うち招待講演 52件 / うち国際学会 88件)

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア新石器時代の鎌と鎌刃
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第27回総会・大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 表面採集石器から見たヒルベトスワン遺跡の年代
3. 学会等名 地球科学研究センター第16回研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 水洞溝遺跡群と中国の初期石刃石器群
3. 学会等名 岩宿フォーラム2021 シンポジウム 日本列島における石刃石器群の出現（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 顔を知らない社会で生きる仕組み：考古学的な見方
3. 学会等名 東京大学教養学部フロンティア講義（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 アジアの新人文化はどのように形成されたのか
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 新人のアジア拡散を調べるためのデータベース
3. 学会等名 アジアの新人文化はどのように形成されたのか
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央ザグロス地方の新石器化と石器分析
3. 学会等名 ザグロス山麓先史考古学プロジェクト第1回研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiaki, N. A. Mohammed and K. Rasheed
2. 発表標題 Investigating the Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: Excavations at Shakar Tepe, the first season (2019)
3. 学会等名 The 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Chalcolithic lithic industries of the fifth millennium BC in Fars, south Iran.
3. 学会等名 The 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Guliyev, F. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Excavations of the Neolithic site of Goytepe, Azerbaijan
3. 学会等名 The International Workshop “ The Neolithic Transition in the Caspian Sea Regions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Arai, S. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Faunal remains of the Mesolithic-Neolithic sites in the South Caucasus.
3. 学会等名 The International Workshop “ The Neolithic Transition in the Caspian Sea Regions (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Neolithic lithic industries of West Zagros.
3. 学会等名 The International Congress on the Revisiting the Hilly Flanks (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアと中央アジアの先史時代
3. 学会等名 東京大学総合研究博物館ボランティア講演会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏・O.アリブジャノフ
2. 発表標題 中央アジア山岳地帯の新石器時代 ウズベキスタン、カイナル・カマル遺跡の調査 (2012-2019年)
3. 学会等名 第29回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Management of The University Museum, The University of Tokyo, Japan.
3. 学会等名 AUA Academic Conference on Co-Curating Flipped Museums for Asian Civilization: A Blended Research and Teaching Approach. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2. 発表標題 Neolithization of the Southern Caucasus as viewed from the Middle Kura of Azerbaijan.
3. 学会等名 The International Association for Archaeological Research in Western & Central Asia, Lecture Series (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y. and Y. Kanjou
2. 発表標題 Northern Natufian at the Dederiyeh Cave, North Syria.
3. 学会等名 The International Association for Archaeological Research in Western & Central Asia, Lecture Series (招待講演)
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Teshik-Tash Neanderthal lithic industry in the context of Neanderthal dispersals.
3. 学会等名 International Conference "Insight into Human History" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Damjili Cave revisited: Prehistoric excavations between 2016 and 2022.
3. 学会等名 International scientific conference on "Azikh cave - the cradle of Homo genius: of Mammadali Huseynov's researches" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The University of Tokyo 's Research into the Neolithization of Southwest Asia.
3. 学会等名 The 15th International Conference on the Zooarchaeology of Southwest Asia. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Neolithic Sickles of Upper Mesopotamia and South Caucasus (II).
3. 学会等名 The 10th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East. (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ikeyama, F., F. Guliyev and Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Seeking Obsidian Exploitation/Exchange Networks of the Neolithic Communities at Goytepe, West Azerbaijan.
3. 学会等名 The 10th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East. (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏・ヤコブ ママドフ・ウルピア ヘイダロヴァ・三木健裕・仲田大人・新井オニ・池山史華・田辺勸太郎・宮井しづか
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第13次発掘調査 (2022年)
3. 学会等名 第30回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松井孝典・西秋良宏・下釜和也・ジェラルド・ウルダー・森脇涼太・多田賢弘・鈴木健太・新井オニ
2. 発表標題 南東アナトリア先土器新石器時代の丘上遺跡-ハルベトスワン・テベシ遺跡の第一次調査 (2022年) -
3. 学会等名 第30回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 中国北部の後期旧石器時代前葉に関する近年の調査研究について
3. 学会等名 日本旧石器学会 第20回大会 研究発表
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹花和晴
2. 発表標題 日本列島の後期旧石器文化における芸術表現
3. 学会等名 人類古生物学研究所主催：『人類学』日本旧石器特集記念講演
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takehana K.
2. 発表標題 日本列島におけ最古の人類活動（フランス語講演）
3. 学会等名 UNESCO・CIPSとUISPP共催国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takehana K.
2. 発表標題 日本列島の先史学の特徴後期旧石器文化（フランス語講演）
3. 学会等名 国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 麻柄一志
2. 発表標題 遺跡からみた富山湾の縄文海進
3. 学会等名 富山考古学会総会記念講演（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 麻柄一志
2. 発表標題 本江遺跡における縄文人の暮らし
3. 学会等名 滑川市立博物館特別展記念講演（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ishiyama, S., H. Nawata, H. Mikuni, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Using scientific results to benefit local people by working together at In Belbel Oasis, Algeria: In accordance with the will of the late Professor Iwao Kobori, the Japanese human geographer.
3. 学会等名 The International Conference on Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kunitake, S.
2. 発表標題 The Blade and Bladelet technology of the Early Upper Paleolithic industries at the northern foot of Tien Shan and Karatau mountains
3. 学会等名 International Scientific and Practical Conference: History and Culture of the Great Steppe (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kunitake, S.
2. 発表標題 Rezultat nauchnogo analiza v 2018 i 2019 raskopok nedavno obnaruzhennogo Rannego Verkhnego Paleoliticheskogo Kyzylauz-2 v severnoy noge Tyan'-shanskogo YUV Kazakhstan
3. 学会等名 Yestestvenno-nauchnyye metody v sovremennykh arkeologicheskikh issledovaniyakh: teoriya i praktika (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kunitake, S.
2. 発表標題 Paleoliticheskiye komplekсы Kazakhstana: mezhdunarodnaya arkeologicheskaya ekspeditsiya v Kazakhstane
3. 学会等名 Embassy of the Republic of Kazakhstan in the Kingdom of Sweden, National Museum of the Republic of Kazakhstan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, M. Inuzuka, K. Kawahara, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Mass spectrometric identification of collagen preserved in Paleolithic animal remains
3. 学会等名 The 68th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Comments on Session 49
3. 学会等名 The International Conference on Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池山史華・大沼克彦・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代における、槌子式押圧剥離法による黒曜石製石刃製作技術と その変異 - ギョイテベ遺跡及びハッジ・エラム ハンル・テベ遺跡資料の分析を中心に -
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第25回総会・大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 ヒトの皮膚の進化と琉球人の渡来
3. 学会等名 日本皮膚科学会第90回沖縄地方会特別講演
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 日本列島の人類史解明
3. 学会等名 アイヌ文化フェスティバル(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 東アジア鋸齒縁石器群の基礎的研究(2)
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 中国北部における後期旧石器文化の形成
3. 学会等名 日本考古学協会第86回総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 東アジア鋸齒縁石器群の基礎的研究(3)
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小高敬寛・前田 修・下釜和也・早川裕弐・西秋良宏・ナシルワンA ムハンマド・カマル ラシード・西秋良宏
2. 発表標題 イラク・クルディスタン、シャカル・テベ遺跡の後期新石器時代層
3. 学会等名 日本オリエント学会第62回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The Palaeolithic diffusion of pressure technology from the Far East to the Near East
3. 学会等名 The International Congress -The East 1 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Issues on the early farming societies in the South Caucasus
3. 学会等名 International workshop: Early Farming Societies of the Southern Caucasus-10 Years of Archaeological Discoveries of Japanese and French Expeditions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 シリアからコーカサスへ：1万年前の社会变革
3. 学会等名 岡山市立オリエント美術館特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方中期旧石器時代石器群の編年と系統
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 領域代表挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア中期旧石器時代の石刃について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 廣瀬允人・内藤裕一・門脇誠二・新井才二・西秋良宏
2. 発表標題 安定同位体分析を用いた南コーカサス初期農耕社会における家畜利用の考察
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池山史華・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代における押圧石刃生産技術の検討 - ギョイテペ遺跡出土資料の分析を中心に
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金成太郎・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス、クラ川中流域における新石器時代の黒曜石利用
3. 学会等名 第36回日本文化財科学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・V. アラクパロフ・西秋良宏・F. キリエフ
2. 発表標題 ギョイテペ遺跡出土土器の脂質分析-コーカサス初期農耕民の乳利用
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤桃子・中沢 隆・新井才二・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 旧石器時代と新石器時代の動物骨と歯に含まれるコラーゲンの質量分析による動物種の判定
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤藤りかい・若林 賢・覚張隆史・勝村啓史・小川元之・内藤裕一・木村亮介・石田 肇・西秋良宏・太田博樹
2. 発表標題 アゼルバイジャンの古人骨ゲノム解析(予報)
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akashi, C., A. Zeynalov, M. Mansurov, F. Guiliev, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Farmers or gatherers? The first archaeobotanical study on the Mesolithic South Caucasus
3. 学会等名 The 18th International Work Group on Palaeoethnobotany (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 開会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 新・旧石器時代の動物遺体に含まれるコラーゲンの質量分析のための新規化学処理法
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 閉会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 みんなの矢と槍
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Introduction
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 A Levantine view to Jomon culture of the Japanese Archipelago
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Dispersals of the Anatolian Neolithic to the North
3. 学会等名 Workshop on the Neolithic of Anatolia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Kaynar Kamar, a new Mesolithic-Neolithic site in south Uzbekistan.
3. 学会等名 Special Seminar at Berlin Free University (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., A. Zeynalov, M. Mansurov, and E. Babazade
2. 発表標題 The Mesolithic and Neolithic flaked stone assemblages from Damjili Cave, west Azerbaijan
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 赤司千恵・M. マンスーロフ・A. ゼイナロフ・西秋良宏
2. 発表標題 洞窟遺跡における植物利用：ダムジリ遺跡の事例（アゼルバイジャン）
3. 学会等名 第34回日本植生史学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ネアンデルタール人の西アジアへの拡散と気候変動
3. 学会等名 気候変動と古代西アジア - 古気候から探る文化・文明の興亡（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 遺跡からわかるヒトと自然環境の関係
3. 学会等名 北海道自然保護協会2019年度公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takakura, J. and T. Yamaoka
2. 発表標題 Analyzing use-related fracture velocity on trapezoids in the Early Upper Paleolithic of Japan to evaluate the projectile delivery modes
3. 学会等名 The 25th annual meeting of the European Association of Archaeologists（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純・赤井文人・鈴木建治・寺崎康史・中沢祐一・長沼正樹・村本周三・森久大
2. 発表標題 北海道ニセコ町西富遺跡における2018年度発掘調査
3. 学会等名 第20回北アジア調査研究報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純・村本周三
2. 発表標題 北海道東・北部における硬質頁岩の分布と産状
3. 学会等名 北海道旧石器文化研究会2018年度定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takakura, J.
2. 発表標題 Technological analyses of the blade technology in the Early Upper Paleolithic of Japan
3. 学会等名 The first Asia Pacific conference on human evolution (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純・立田 理・岡村 聡
2. 発表標題 北海道における緑泥石岩の原産地とそれを用いた玉類の分布・製作過程
3. 学会等名 日本考古学協会第85回総会・研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 硬質頁岩製石器における微視的製作痕跡
3. 学会等名 日本旧石器学会第17回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 中国山東省の中期旧石器文化
3. 学会等名 日本旧石器学会第17回大会一般研究発表
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 進化と創造の石器文化史
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 DIY先史学：石器研究における文理融合の試み
3. 学会等名 「考古学」大勉強会：進化と脱進化
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木美保
2. 発表標題 刃部磨製石斧の起源 - 伝播か収斂進化か？
3. 学会等名 日本旧石器学会第17回研究発表シンポジウム 旧石器研究の理論と方法論の新展開
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 黒曜石利用の変化
3. 学会等名 シンポジウム 北大札幌キャンパス遺跡群を探る
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 西富遺跡の調査成果（旧石器時代）
3. 学会等名 西富遺跡調査成果報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kato, S.
2. 発表標題 The Sjra-osso-gol industry: The Middle Paleolithic of the northern China
3. 学会等名 International Symposium on Paleoanthropology in Commemoration of the 90th Anniversary of the Discovery of the First Skull of Peking Man (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 北海道ニセコ町西富遺跡における発掘調査
3. 学会等名 2019年度北海道考古学会遺跡調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 狩猟具の製作技術に迫るために
3. 学会等名 シンポジウムHunting: 狩猟相解明のためのアプローチ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上羽陽子・山岡拓也・中谷文美・金谷美和
2. 発表標題 道具資源としての植物利用の多様性 - ヤシ科植物の事例から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 新人定着イベントを越えて継続する東アジア鋸歯縁石器群の系統論・行動論的研究
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上峯篤史
2. 発表標題 東アジア鋸齒縁石器群の基礎的研究(1)
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 MIS3-2の中国北半部の石器群 - 小石刃と細石刃
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 いくつかの事例からみる中国における後期旧石器の開始について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 国武貞克
2. 発表標題 中央アジア西部における小石刃石器群について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 国武貞克
2. 発表標題 中央アジアにおける後期旧石器時代初頭（IUP）石器群の探求
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 国武貞克
2. 発表標題 中央アジア西部における後期旧石器時代初頭（IUP）石器群の探求
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤藤りかい・石田 肇
2. 発表標題 環境DNAから読み解く古環境と文化
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木美保
2. 発表標題 石材資源開発と石器製作技術 後期旧石器時代の日本列島
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 石刃剥離方法の同定にむけて-後期旧石器時代石器群における事例分析から-
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高倉 純・鈴木建治
2. 発表標題 シベリアの後期旧石器時代石器群における石英・珪岩利用
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高畑尚之・澤藤りかい・太田博樹
2. 発表標題 ゲノムからみた現生人類集団の移動と分化と交雑
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹花和晴
2. 発表標題 ネアンデルタール人と彼等の死、特に埋葬と墓
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川和哉
2. 発表標題 韓国における中期旧石器から後期旧石器への変遷
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川和哉
2. 発表標題 韓国の後期旧石器時代初頭の様相
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野口 淳
2. 発表標題 日本列島における後期旧石器時代初頭～前半期の様相：パレオアジア文化史学の文脈から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野口 淳・北川浩之・田村 亨・石井佑次・三木健裕・Carla Lancelotti・Ghulam M. Veesar・Tasleem Abro・Amin Chandio・Marco Madella
2. 発表標題 インダス平原北部における考古学・古環境総合調査 -JASPAR (日パ西考古学共同調査) 2019 - 01 -
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 麻柄一志
2. 発表標題 中国中原地区のMIS3の石器群
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 麻柄一志
2. 発表標題 内蒙古薩拉烏蘇遺跡出土の石器群について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 武蔵台遺跡立川ローム 層から出土した不定形剥片にみとめられる剥離痕跡
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 カラオ洞窟の30kaの文化層から出土した石器の技術形態学的な特徴
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 東アジアにおける細石刃石器群の出現と拡散：西山頭・西沙河の衝撃
3. 学会等名 第21回北アジア調査研究報告会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 東アジアにおける細石刃技術の出現と拡散
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 華北におけるMIS3の大型石器群
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 国武貞克・田村 亨・山根雅子・村田泰輔
2. 発表標題 カザフスタン南部チョーカン・バリハノフ遺跡最下層の年代と堆積構造
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 国武貞克・堤 隆
2. 発表標題 日本列島におけるホモサピエンス出現時期の較正年代
3. 学会等名 日本文化財科学会第37回大会 第四回土器科学分析ワーキンググループ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 国武貞克
2. 発表標題 中央アジア西部における後期旧石器時代初頭(IUP)石器群の様相
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林 豊・田村光平・鈴木美保・中村光宏・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアデータベースを用いた探索的分析の概略
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林 豊・田村光平・鈴木美保・中村光宏・加藤真二・中川和哉・高倉 純・山岡拓也・野口 淳・近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアモード存在・非存在データの探索的統計解析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 澤藤りかい
2. 発表標題 古代DNA分析－近年の動向とその応用例
3. 学会等名 令和3年度第1回国際遺跡研究セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 澤藤りかい
2. 発表標題 古代DNAの最前線 遺跡資料から分かること
3. 学会等名 第2回公開シンポジウム：バイオアーケオロジーの最前線
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤藤りかい・上原 麗・石田 肇
2. 発表標題 現代・古代人の歯石DNA解析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 澤藤りかい・蔦谷 匠・石田 肇
2. 発表標題 アジア東部の後期更新世のホモ属に関するレビュー
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美保
2. 発表標題 南アジア・東アジアの旧石器文化編年 パレオアジアDBから
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美保
2. 発表標題 黒曜石でナイフ形石器を作ろう！
3. 学会等名 令和2年度文化財講座、武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美保
2. 発表標題 石材データ付きのパレオアジアDBについて
3. 学会等名 B02:現象数理研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美保
2. 発表標題 石材資源開発と石器製作技術(2) - パレオアジアモードからのアプローチ -
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美保・小林豊・西秋良宏・田村光平
2. 発表標題 日本列島後期旧石器時代石器技術の時空間的位置づけ：アジアの中の日本列島
3. 学会等名 日本旧石器学会第20回総会・大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 北アジアにおける現生人類の拡散とその適応の過程
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 愛鷹山麓のBB V 層期での狩猟技術
3. 学会等名 第35回考古学研究会東海例会：愛鷹山麓の後期旧石器時代前半期における狩猟活動と植生変化
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高倉 純・池谷和信
2. 発表標題 北アジアにおける後期旧石器時代の装飾品
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹花和晴
2. 発表標題 ヨーロッパに於けるネアンデルタール人からクロマニヨン人に至る象徴的思考と行動の研究、特に芸術上の表現
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 竹花和晴
2. 発表標題 洞窟壁画にみる旧石器時代狩猟民の世界観の今日的位相
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村 亨・山根雅子・国武貞克
2. 発表標題 カザフスタン南東部Kuzulau2遺跡のOSL年代
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中川和哉
2. 発表標題 韓国における後期旧石器初頭の文化について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・犬塚ま子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 韓国における後期旧石器時代前半の石器製作技術
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・犬塚ま子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 動物の考古遺体から抽出したコラーゲンの質量分析による経年劣化
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中谷文美・上羽陽子・山岡拓也・金谷美和・R. Fuentes・小野林太郎
2. 発表標題 植物資源の多面的利用 用途に適した素材特性の理解と文化的選好をめぐって
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 開会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 閉会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジア西部の中期旧石器時代石器群 - テシクタシュ洞窟出土資料を中心に
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ホモ・サピエンスの拡散と旧人 ヒトと文化の交替劇
3. 学会等名 移動の価値とモビリティの未来セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 閉会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの構築について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ご挨拶
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第5回トップランナーズセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 デデリエ洞窟の資料
3. 学会等名 アインダーラ文化財セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 シリア、アイン・ダーラ遺跡資料について
3. 学会等名 文化遺産コンソーシアム西アジア分科会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ご挨拶
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第3回パイオニアセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ご挨拶
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリプジャノフ
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2012-2019年)
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 アゼルバイジャン発掘調査2008-2019年
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 麻柄一志
2. 発表標題 中国東北地区のMIS3の石器群
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・V. アラクパロフ・西秋良宏・F. キリエフ
2. 発表標題 南コーカサス新石器時代土器の脂質分析-土器の機能と乳利用の有無をめぐって-
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第25回総会・大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 台形様石器の使用痕分析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 道具資源利用における行動的現代性
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 愛鷹山麓の後期旧石器時代前半期における狩猟行動の変遷
3. 学会等名 第35回考古学研究会東海例会：愛鷹山麓の後期旧石器時代前半期における狩猟活動と植生変化（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ishida H.
2. 発表標題 Bioarchaeology of the prehistoric Okhotsk culture, northern Japan
3. 学会等名 The 5th Workshop of Biological Anthropologists (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ishida H.
2. 発表標題 Research summaries of the Hamanaka 2 excavations, Rebun, Hokkaido. Final Workshop BaikaiHokkaido Archaeological Project
3. 学会等名 Holocene Hunter-Gatherers of Northeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sawafuji, R., R. Kimura, H. Oota and H. Ishida
2. 発表標題 Human Genetic Diversity and Peopling History in East and Southeast Asia.
3. 学会等名 Indo-Pacific Prehistory Association 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sawafuji, R., R. Kimura, H. Oota, and H. Ishida
2. 発表標題 Human genetic diversity and peopling history in East and Southeast Asia
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 日本列島の人類史解明
3. 学会等名 アイヌ文化フェスティバル (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤藤りかい・Mikkel W. Pedersen・加藤博文・石田 肇
2. 発表標題 礼文島浜中2遺跡の土壌DNA解析
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takehana, K., S. Kato, H. Magara, and K. Nakagawa
2. 発表標題 A study of the quartz lithic industries in Paleolithic Eurasia
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kato, S.
2. 発表標題 The Paleolithic of China: Its industries and chronology
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kato, S., K. Tamura, T. Yamaoka, M. Suzuki, Y. Nishiaki and H. Magara
2. 発表標題 Chrono-Spatial Patterning of the Late Pleistocene Lithic Assemblages from East and Southeast Asia.
3. 学会等名 The 9th Meeting of the Asian Paleolithic Association. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 東アジアの鋸歯縁石器群
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤真二・田村光平・山岡拓也
2. 発表標題 東アジアの旧石器石器群の類型化と編年
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹花和晴・加藤真二・麻柄一志・中川和哉
2. 発表標題 西ヨーロッパにおける旧人と新人の石器原石材獲得に関する比較研究
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Itinerant knappers at Neolithic villages in northern Mesopotamia?
3. 学会等名 The 18th UISPP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 New data on the Neolithisation of Central Asia
3. 学会等名 International Seminar on Archaeology of Central Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Emergence and development of pressure debitage in Central and Western Asia
3. 学会等名 The 9th Conference of the Asian Paleolithic Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Patterns in the formative processes of modern human cultures in Asia
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and E. Baudouin
2 . 発表標題 In pursuit of the origins of farming societies in the Fertile Crescent and beyond
3 . 学会等名 The French Research Day in Japan 2018/ the 15th Anniversary of the French-Japanese SAKURA Program ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2 . 発表標題 Mobility and sedentism in the Mesolithic-Neolithic contact period of the Southern Caucasus
3 . 学会等名 The Twelfth International Congress on Hunting and Gathering Societies ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2 . 発表標題 Gender perspectives on Neolithization in the Southern Caucasus
3 . 学会等名 The Eleventh International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akashi, C., F. Guliyev, A. Zeynalov, M. Mansurov, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Replacement or assimilation?: Plant exploitation in the Mesolithic-Neolithic contact period of the South Caucasus
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kobayashi, Y., M. Nakamura, K. Tamura, K. Aoki, S. Kurokawa, J. Y. Wakano, S. Kato, M. Suzuki, J. Takakura, K. Nakagawa, A. Noguchi, T. Yamaoka, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Analysis of archaeological data based on 0,1-vector models
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nakamura, M., K. Tamura, K. Aoki, Y. Kobayashi, S. Kurokawa, J. Y. Wakano, S. Kato, M. Suzuki, J. Takakura, K. Nakagawa, A. Noguchi, T. Yamaoka, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Statistical analyses of archaeological cultures based on 0,1-vector models
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, K. Matsuo, M. Inuzuka, Y. Ito, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Identification of animal species by mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic and Paleolithic bone specimens
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nakazawa, T., M. Karino, S. Arai, K. Ohnishi, K. Kawahara, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, S. Kadowaki and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Mass Spectrometry of collagen preserved in Neolithic animal bones for the identification of species
3 . 学会等名 The 66th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Arai, S., A. Zeynalov, F. Guliyev, O. Aripdjanov, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 To the East: Recent zooarchaeological studies concerning the spread of domesticated animals into Southern Caucasus and Central Asia
3 . 学会等名 13th ICAZ International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Joeris, O., J. Banea and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Becoming Specialists, From Imitation to Professionalism: A Palaeolithic to Neolithic Perspective
3 . 学会等名 The XVIII UISPP World Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shikaku, R., H. Nojima, M. Hoshino, K. Uesugi, N. Yagi, H. Okamura, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Image and metalworking technology: Bimetallic sword from northern Iran
3 . 学会等名 The Eleventh International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年



1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジア・プロジェクトとは
3. 学会等名 PaleoAsia 2018 公開講演会「アフリカからアジアへ」 現生人類の起源と拡散（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ザグロス地方中期旧石器時代石器群の変異
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 先史時代のユーラシア
3. 学会等名 シルクロード新世紀 公開講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中期旧石器時代前半における新人の北ユーラシア拡散可能性について
3. 学会等名 日本旧石器学会2018年度総会・研究発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンにおける考古遺跡の保護・活用の課題について
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム第31回西アジア分科会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアにおける押圧剥離技術の出現と展開について
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回総会・大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 考古学からみる狩猟採集・農耕社会の接触と交替 西アジアと周辺の場合
3. 学会等名 日本考古学協会第84回総会セッション：新人の拡散と先住集団との文化的交替 完新世考古学・民族学からみた展望
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 レヴァント地方前期ムステリアンの諸問題
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・U. ヘイダロヴァ・下釜和也・赤司千恵・新井オニ・桐原弘宣
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第11次発掘調査（2019年）
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・仲田大人・新井オニ・野口 淳
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第6次ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2018年）
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏・ソニア シドラング・小高敬寛・仲田大人・新井オニ
2. 発表標題 イラン南西部マルヴダシュト平原の旧石器～先土器新石器時代遺跡群
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回総会・大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・北川浩之・田村 亨
2. 発表標題 中央アジア中期旧石器時代編年の諸問題
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・松崎浩之・西秋良宏
2. 発表標題 土器残存脂質分析からみた南コーカサス初期農耕民の土器利用
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 赤司千恵・門脇誠二・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサスにおけるヨモギ属 ( <i>Artemisia</i> sp.) 利用史
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 人文学の可視化による学融合領域の創出 人文学と情報学のチームサイエンス
3. 学会等名 第32回人間文化研究機構シンポジウム『人文知による情報と知の体系化 異分野融合で何をつくるか』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・加藤真二・鈴木美保・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 石器データの統計的性質から推測される文化の拡散メカニズム
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中沢 隆・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンから出土した新石器時代のヤギおよびヒツジの骨に含まれるコラーゲンの質量分析
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村 亨・西秋良宏・門脇誠二・国武貞克
2. 発表標題 中央・西アジア旧石器時代遺跡のOSL特性の多様性
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 東アジア中・後期旧石器石器群類型化の試み（第2報）
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・鈴木美保・高倉 純・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDB石器データ時空間動態の可視化
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takakura, J.
2. 発表標題 The microblade technology in the early Upper Palaeolithic of Asia: Convergence or diffusion?
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takakura, J.
2. 発表標題 Skill learning and social connectivity: obsidian blade knapping of the Late Upper Paleolithic in Hokkaido, northern Japan
3. 学会等名 18th UISPP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takakura, J., B. Tsogtbaatar, S. Iida, Y. Otsuka, M. Ambiru, and Y. Tsurumaru
2. 発表標題 Lithic technology and dates of the Initial Upper Paleolithic in northern Mongolia: the case of the Bayan-gol 1 site.
3. 学会等名 18th UISPP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 シベリア北極圏への人類の拡散
3. 学会等名 北海道大学総合博物館土曜セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 寒帯との比較
3. 学会等名 温帯更新世の狩猟採集民の実像を求めて
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純・赤井文人・鈴木建治・寺崎康史・中沢祐一・長沼正樹・村本周三・森 久大
2. 発表標題 北海道ニセコ町西富遺跡における2018年度発掘調査
3. 学会等名 第20回北アジア調査研究報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 赤井文人・高倉純・中沢祐一
2. 発表標題 古サハリン-北海道半島におけるLGM前の石器群
3. 学会等名 日本旧石器学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純・近藤康久・北川浩之
2. 発表標題 古環境から見たシベリア北極圏への人類の拡散
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamaoka, T.
2. 発表標題 Diversified Analyses of Trapezoids in the Initial Early Upper Paleolithic on the Japanese Islands.
3. 学会等名 Association of Archaeological Wear and Residue Analysis (AWRANA) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamaoka, T.
2. 発表標題 Technology and resource use during the Initial Early Upper Paleolithic on the Japanese Islands.
3. 学会等名 Twelfth International Conference on Hunting and Gathering Societies (CHAGSXII) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamaoka, T.
2. 発表標題 Bamboo hypothesis and studies on behavioral modernity of Early Modern Humans
3. 学会等名 The 21st Indo-Pacific Prehistory Association conference (IPPA2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 日本列島の後期旧石器時代初頭の狩猟具技術
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 山岡拓也・萩原涼太
2. 発表標題 愛鷹箱根編年の第1期の遺物と遺構
3. 学会等名 日本考古学協会2018年度静岡大会分科会I「旧石器時代における愛鷹山麓の地域性 はざまを生み出すヒトの営み」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 北アジアIUPの分布と年代
3. 学会等名 日本旧石器学会第15回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木建治・高倉 純
2. 発表標題 北極圏の旧石器研究の現状
3. 学会等名 日本旧石器学会第15回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takakura, J.
2. 発表標題 The expansion of modern humans in North and East Asia: a perspective and evidence
3. 学会等名 Seminar of the institute of the study of the history of material culture (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高倉 純・鈴木建治・中沢祐一・長沼正樹・村本周三・森 久大
2. 発表標題 北海道ニセコ町西富遺跡における2017年度発掘調査
3. 学会等名 第19回北アジア調査研究報告会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 ニセコ町西富遺跡の調査と北海道南部における旧石器研究史
3. 学会等名 北海道旧石器文化研究会2017年度定例研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 シビリャチャー八伝統の評価 - 分布・年代・生業 -
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中沢祐一・長沼正樹・廣松滉一・赤井文人・尾田識好・吉留頌平・中村雄紀・内田和典・種石 悠・富塚 龍・高倉 純・出穂雅実
2. 発表標題 北海道東北部・北見盆地における現生人類遺跡の考古学的調査：共栄3遺跡（置戸町）の試掘調査の成果
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 モヴィウスラインの解釈に関する考古学的研究の歴史と現状
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 第1回 ホモ・サピエンスの技術と能力とは何か？～世界各地で明らかにされている現代人的行動～
3. 学会等名 静岡大学公開講座「ふじのくにのホモ・サピエンス」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 第3回 3万5千年前のハイテク狩猟具～台形様石器の実験考古学～
3. 学会等名 静岡大学公開講座「ふじのくにのホモ・サピエンス」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 第2回 石器の見方 - 石器の作り方と種類 -
3. 学会等名 静岡大学キャンパスミュージアム公開講座2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤真二・山岡拓也
2. 発表標題 東アジア・東南アジア旧石器時代石器群類型化の試み: Chrono-spatial patterning of the Late Pleistocene lithic assemblages from East and Southeast Asia.
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020: パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 黒曜石製狩猟具の製作と使用
3. 学会等名 企画展講演会「黒曜石からわかること」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松藤和人
2. 発表標題 東アジアにおける新人出現期の様相
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020: パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Lee, Y. j., K. Matsufuji, K. D. Bae, J. Y. Woo, S. W. Lee, G. R. Kim and K. W. Lee
2. 発表標題 Dating of Mansuri Paleolithic Site in Cheongju and its Significances
3. 学会等名 2017 International Symposium of ICPHY & IEAA. International Symposium of Palaeolithic Archaeology in Eurasia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松藤和人・麻柄一志・竹花和晴
2. 発表標題 東アジアにおける後期更新世石器群の技術類型学上の研究法について
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Arai, S., A. Zeynalov, M. Mansurov, F. Guliyev and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Faunal assemblages in the Mesolithic-Neolithic Transition of the Southern Caucasus: a view from Damjili Cave, West Azerbaijan
3. 学会等名 The 13th International Symposium on the Archaeozoology of Southwest Asia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Dating cultural dynamics during the dispersals of anatomically modern humans and agriculture in western Eurasia
3. 学会等名 The Fourteenth International AMS Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアとその周辺の考古学
3. 学会等名 アンデス文明研究会 公開講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの定量的分析に向けて
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学 A01班研究会・パレオアジアDB研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 レバノン、ケウエ洞窟出土石器群の再検討　いわゆるIUP関連石器を中心に
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第21回総会・大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアの前・中期旧石器時代移行期の人類史的意義について
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第21回総会・大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・野林厚志・門脇誠二・北川浩之・若野友一郎・赤司千恵
2. 発表標題 パレオアジア文化史学　新人文化形成プロセス総合的研究にむけた海外学術調査の統合の試み
3. 学会等名 平成29年度『海外学術調査フォーラム（海外学術調査フェスタ）』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 北メソポタミア青銅器時代の石器製作技術
3. 学会等名 公開シンポジウム『石器技術研究会 日本列島と西アジア』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 はじめに
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・野口 淳
2. 発表標題 旧世界中後期旧石器時代の装身具からみたヒトと文化
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The PaleoAsia project overview
3. 学会等名 International Workshop Cultural Evolution during the Modern Human Dispersals (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Opening remarks
3. 学会等名 International Workshop Across the Movius Line: Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 General discussion
3. 学会等名 JSPS seminar: Dispersals of Farming across Eurasia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 General discussion
3. 学会等名 JSPS seminar: The Effect of Geographical Margins to Food Globalization in Prehistory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa
2. 発表標題 The Yabrudian industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria
3. 学会等名 International Conference: Vocation Prehistoire - Hommages a Jean-Marie Le Tensorer (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジア山麓部への食料生産経済の拡散と展開：ウズベキスタン旧石器遺跡調査2017
3. 学会等名 第1回シルクロード学研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明・総合討論
3. 学会等名 日本学術振興会外国人研究者短期招聘事業国際シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ
2. 発表標題 ウズベキスタン、テシク・タシュ洞窟出土の中期旧石器時代石器群
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 赤司千恵・F. キリエフ・丹野研一・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサスにおける初期農耕-出土植物データからみた研究の現状
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 はじめに・総合討論
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・A. ゼイナロフ・M. マンスーロフ
2. 発表標題 南コーカサス地方のムステリアン石器群の変異
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高倉 純・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 北ユーラシア交替劇にかかわる年代データの定量的解析
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野口 淳・鈴木美保・中村光宏・近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 南アジア後期旧石器時代幾何学細石器群の起源
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 人文学の可視化による学融合領域の創出 人文学と情報学のチームサイエンス
3. 学会等名 第32回人間文化研究機構シンポジウム『人文知による情報と知の体系化 異分野融合で何をつくるか』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ウズベキスタンにおける東京大学の旧石器遺跡調査
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学A01公開セミナー「カザフ平原から古日本列島へ：ユーラシア広域編年の可能性」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリフプジャノフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・仲田大人
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第5次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2017年)
3. 学会等名 考古学が語る古代オリエント 第25回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井才二
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第10次発掘調査(2017年)
3. 学会等名 考古学が語る古代オリエント 第25回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤藤りかい・石田 肇
2. 発表標題 歯石から見る古代の文化 パレオアジア研究への応用
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 形態とゲノムから探る琉球列島のヒト
3. 学会等名 第55回全国大学保健管理研究集会教育講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ishida H.
2. 発表標題 Morphological characteristics and bioarchaeology of the Asian and Japanese human populations.
3. 学会等名 The Potential and Possibility of Physical Anthropology Study in East Asia. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 オホーツク文化人と琉球人：アイヌ民族との接点を求めて
3. 学会等名 考古学・人類学とアイヌ民族 最新の研究成果と今後の研究のあり方
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 オホーツク人の骨を知る・学ぶ
3. 学会等名 「人類学と考古学を知る・学ぶ」6(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤藤りかい・木村亮介・太田博樹・石田 肇
2. 発表標題 アジア旧石器時代人類の形質、遺伝子にみられる地理的変異
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ishida H.
2. 発表標題 Bioarchaeology of the Prehistoric Okhotsk culture, northern Japan
3. 学会等名 The 5th Workshop of Biological Anthropologists (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Noguchi, A., M. Zahir, and T. Uozu
2. 発表標題 Session: Archaeology and cultural heritage in modern South Asian countries.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Raczek, T., P. Shirvalkar, and A. Noguchi
2. 発表標題 Session: Margins: society and economy in challenging environments.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero
2. 発表標題 Session: Multidisciplinary approach in the definition of high-resolution events to interpret past human behaviour.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 ウズベキスタン・アンギラク洞窟の中期旧石器時代層の花粉分析
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 麻柄一志・上峯篤史・竹花和晴・松藤和人
2. 発表標題 レス-古土壌編年から見た旧石器編年-中国山西省丁村遺跡群を例として-
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤真二
2. 発表標題 中国北部の旧石器時代装身具
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ishida, H.
2. 発表標題 Biological anthropology of the Ainu and Ryukyu Islanders.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 形態とゲノムから探る琉球列島のヒト
3. 学会等名 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会特別講演(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田 肇・當山武知・石田浩太郎
2. 発表標題 2010年以降に報告されたアジアにおけるヒト化石
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 アジアの更新世人類化石
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 石田 肇
2. 発表標題 ヒト頭蓋小変異
3. 学会等名 日本解剖学会第72回九州支部学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松藤和人・中川和哉
2. 発表標題 韓国における最近の旧石器研究 -時間尺度としてのレス-古土壌編年の有効性-
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：A01班研究集会A01日本列島における新人文化の形成過程
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松藤和人・加藤真二・中川和哉・麻柄一志・上峯篤史・竹花和晴
2. 発表標題 ホモ・サピエンスの出現は東アジアに何をもたらしたか
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Opening remarks.
3. 学会等名 The 2nd Conference on the Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Archaeological issues on the emergence of modern humans in the Zagros and beyond.
3. 学会等名 The 2nd Conference on the Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 PPN-PN The emergence and development of the Mlefaatian lithic industry in the Iranian Zagros.
3. 学会等名 The 8th International Conference on the PPN Chipped Lithic Industries of the Near East (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Development of the lithic industries of the earliest farming communities in the Middle Kura Valley, Azerbaijan.
3. 学会等名 The 8th International Conference on the PPN Chipped Lithic Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Towards a high-resolution chronology of the Neolithisation processes of the Southern Caucasus.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏・O.アリプジャノフ・R. スレイマノフ・B. セイフライエフ・O.エンゲシェッド・仲田大人・新井オニ
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第4次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2016年)
3. 学会等名 『考古学が語る古代オリエント-第24回西アジア発掘調査報告会』日本西アジア考古学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・F.キリエフ・A.ザイナロフ・M.マンズロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井オニ
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第9次発掘調査(2016年)
3. 学会等名 『考古学が語る古代オリエント-第24回西アジア発掘調査報告会』日本西アジア考古学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアからコーカサスへ-初期農村の拡散と社会
3. 学会等名 南コーカサス農耕牧畜の起源を探る展・記念講演会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジアにおける現生人類出現プロセスを探るーウズベキスタン旧石器遺跡調査2012-2016
3. 学会等名 中央アジア遺跡調査報告会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア発、“新石器革命”とその拡散
3. 学会等名 2016年度西洋史研究会大会共通論題：ゲノム研究は歴史を変える-西ユーラシアの農耕-牧畜・移動-定住研究の現在（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代の社会発展と建築伝統
3. 学会等名 日本オリエント学会第58回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築に向けて
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ユネスコ主催第2回シリア文化遺産専門家会議報告
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム第27回西アジア分科会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Noguchi, A., F. Chiba, and S. Yokoyama
2. 発表標題 Visualizing patterns in archaeological contexts: distributional mapping by processing.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takakura, J.
2. 発表標題 Understanding of skill learning and childhood in the Paleolithic: A view from apprentice of lithic knappers.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takakura, J.
2. 発表標題 Analyzing the refitted artifacts within the Upper Paleolithic sites to reconstruct human behaviors: A case study from central and eastern Hokkaido, Japan.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 北アジアにおける後期旧石器時代のはじまりと現生人類の拡散
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 北アジアにおける細石刃技術の出現過程
3. 学会等名 北海道旧石器文化研究会2016年度定例研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高倉 純
2. 発表標題 北アジアにおける現生人類の拡散：文化過程の観点から
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamaoka, T.
2. 発表標題 Armatures from 35,000 years ago: study on trapezoids from the Doteue site in Shizuoka Prefecture, Japan.
3. 学会等名 The BINALOT TALKS, the Archaeological Studies Program of the University of the Philippines (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 静岡県沼津市土手上遺跡出土台形様石器の完形資料と欠損資料の分析
3. 学会等名 『文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山岡拓也
2. 発表標題 東南アジアにおける現代人的行動に関する考古学的研究とタケ仮説
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山岡拓也・高倉 純
2. 発表標題 日本列島における新人文化の形成過程
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：A01班研究集会A01日本列島における新人文化の形成過程
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松藤和人
2. 発表標題 開催趣旨説明
3. 学会等名 「パレオアジア」A01東アジア班国際セミナー2017『東アジアにおけるホモ・サピエンス出現前後の考古学』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noguchi, A.
2. 発表標題 Development of lithic technological system and socio-economic integration through the Early Harappan period: the key role of the northern Sindh and Mohenjodaro.
3. 学会等名 Conference on Mohenjodaro & Indus Valley Civilization 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noguchi, A.
2. 発表標題 Development of lithic technological system and socio-economic integration through the Early Harappan period: the key role of the northern Sindh and Mohenjodaro.
3. 学会等名 Conference on Mohenjodaro & Indus Valley Civilization 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noguchi, A.
2. 発表標題 Development of lithic technological system and socio-economic integration through the Early Harappan period: the key role of the northern Sindh and Mohenjodaro.
3. 学会等名 Conference on Mohenjodaro & Indus Valley Civilization 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noguchi, A.
2. 発表標題 Development of lithic technological system and socio-economic integration through the Early Harappan period: the key role of the northern Sindh and Mohenjodaro.
3. 学会等名 Conference on Mohenjodaro & Indus Valley Civilization 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計132件

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev and S. Kadowaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Kadowaki, S., T. Miki, K. Shimogama, and Y. Nishiaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	



1. 著者名 Nishiaki, Y	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Maeda, and M. Arimura	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Sidestone Press	5. 総ページ数 599
3. 書名 Tracking the Neolithic in the Near East.	

1. 著者名 Kadowaki, S., Y. Nishiaki, and F. Guliyev	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Sidestone Press	5. 総ページ数 599
3. 書名 Tracking the Neolithic in the Near East.	

1. 著者名 Nishiaki, Y	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Sidestone Press	5. 総ページ数 599
3. 書名 Tracking the Neolithic in the Near East.	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 350
3. 書名 旧石器考古学辞典 四訂版	

1. 著者名 山岡拓也・橋詰 潤・井上雅也	4. 発行年 2021年
2. 出版社 向坂鋼二先生米寿記念論集刊行会	5. 総ページ数 712
3. 書名 向坂鋼二先生米寿記念論集 地域と考古学	

1. 著者名 山岡拓也・橋詰 潤・井上雅也	4. 発行年 2023年
2. 出版社 静岡大学人文社会科学部考古学研究室	5. 総ページ数 318
3. 書名 石川県能登町真脇遺跡 史跡真脇遺跡整備事業に係る第 3 ～20次発掘調査総括報告書	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Joris (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 加藤真二（編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 奈良文化財研究所	5. 総ページ数 114
3. 書名 東アジア旧石器・新石器移行期の基礎的研究 河南霊井遺跡出土品の徹底分析	

1. 著者名 西秋良宏（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 Mastering hammer use in stone knapping: An experiment. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Astrom Editions	5. 総ページ数 530
3. 書名 Neolithic lithic industries of the Southern Caucasus: Goytepe and Haci Elamxanli Tepe, West Azerbaijan (Early 6th Millennium BC). In: Near Eastern Lithics on the Move: Interaction and Contexts in Neolithic Traditions	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Joris	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 Learning behaviors among Neanderthals and Palaeolithic modern humans: An introduction. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 Takahashi, S. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 Learning of sanukite knapping at Suichoan (Japan) in the Upper Paleolithic. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「はじめに」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「東アジアへ向かった現生人類、二つの適応」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「アフリカからアジアへ 文化の視点」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「おわりに」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・仲田大人・新井オ二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140
3. 書名 「北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第7次ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2019年）」 『第27回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・赤司千恵・廣瀬允人・池山史華	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140
3. 書名 「南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第12次発掘調査（2019年）」 『第27回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 上峯篤史	4. 発行年 2019年
2. 出版社 宝島社	5. 総ページ数 347
3. 書名 『大論争 日本人の起源』	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中西出版	5. 総ページ数 91
3. 書名 「続縄文後半期」 『考古学からみた北大キャンパスの5,000年』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 奈良文化財研究所	5. 総ページ数 50
3. 書名 「カシュカダリヤ溪谷、アンギラク洞窟の発掘調査」 『天山山脈から古日本列島へ：ユーラシア広域編年の可能性』	

1. 著者名 鈴木美保	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京印書館	5. 総ページ数 343
3. 書名 第2章 旧石器時代の遺跡 『新府中市史 原始・古代 資料編1 考古資料1』	

1. 著者名 Takakura, J. and Y. Naoe	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 212
3. 書名 The Apprentice core: evidence from a lithic refitting at the Upper Paleolithic site Kyushirataki-5 in Hokkaido, Northern Japan. In Learning Among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 Horiuchi, S. and J. Takakura	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 212
3. 書名 Modeling learning strategies and the expansion of the social network in the beginning of Upper Paleolithic Europe: analysis by agent-based simulation. In: Learning Among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 Ikeya, K. and Y. Nishiaki eds.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Cultural Continuity of Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present	

1. 著者名 Nishiaki, Y. ed.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 上峯篤史 編訳	4. 発行年 2020年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 217
3. 書名 石の目を読むー石器研究のための破壊力学とフラクトグラフィ	

1. 著者名 国武貞克	4. 発行年 2021年
2. 出版社 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	5. 総ページ数 130
3. 書名 奈良文化財研究所研究報告第29冊 中央アジア初期後期旧石器文化の研究	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 226
3. 書名 中央アジアのネアンデルタール人	

1. 著者名 Ikeya, K. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Introduction: Cultural diversity among Asian hunter-Gatherers from prehistory to present. In: Cultural Continuity of Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present	



1. 著者名 Kadowaki, S., Y. Arimatsu and Y. Nishiaki	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Excavation, stratigraphy and architecture of Square 4B at Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University	5. 総ページ数 111
3. 書名 Tall-i Bakun A, Tall-i Bakun B, Tall-i Jari A, Tall-i Jari B, Tall-i Gap, Tall-i Mushki. In: Archaeological Research and Preservation of Cultural Heritage in Iran	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University	5. 総ページ数 111
3. 書名 Dailaman cemetery sites. In: Archaeological Research and Preservation of Cultural Heritage in Iran	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University	5. 総ページ数 111
3. 書名 Halimejan cemetery sites. In: Archaeological Research and Preservation of Cultural Heritage in Iran	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Neolithic flaked stone industry of Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Brepols	5. 総ページ数 310
3. 書名 Dispersals of pressure debitage technology to Central and Southwest Asia. In: Identity, Diversity & Contact: From the Southern Balkans to Xinjiang, from the Upper Palaeolithic to Alexander	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Hunter-gatherers and farmers in the Mesolithic-Neolithic contact period of the Southern Caucasus. In: Cultural Continuity of Hunter-Gatherers in Asia: From Prehistory to Present	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Introduction. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1 . 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, F. Huseynov and K. Shimogama	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Archaeopress	5 . 総ページ数 366
3 . 書名 The Excavation, stratigraphy, and architecture of the Upper Area of Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1 . 著者名 Nishiaki, Y., Y. Arimatsu and S. Arai	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Archaeopress	5 . 総ページ数 366
3 . 書名 Soundings at the edges of Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1 . 著者名 Nishiaki, Y., E. Baudouin and F. Guliyev	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Archaeopress	5 . 総ページ数 366
3 . 書名 Mudbricks in Neolithic architecture at Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1 . 著者名 Takakura, J. and Y. Nishiaki	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Archaeopress	5 . 総ページ数 366
3 . 書名 Fracture wing analysis for identification of obsidian blank production techniques at Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Takehana, K.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 CNRS-Edition	5. 総ページ数 325
3. 書名 La culture a biface du Bassin de Bose. Cadre stratigraphique et geochronologique. Sa place dans l'evolution des cultures prehistoriques en Extreme-Orient, In: Les Industries lithiques du Paleolithique ancien du Bassin de Bose, Province autonome du Guangxi Zhuang, Chine su Sud	

1. 著者名 Yamaoka, T.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Technology and resource use during the Early Upper Paleolithic on the Japanese Islands. In: Hunter-Gatherers in Asia from Prehistory to the Present	

1. 著者名 加藤真二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 六一書房	5. 総ページ数 578
3. 書名 中国北部における土器の出現について『世界と日本の考古学 オリーブの林と赤い大地』	

1. 著者名 加藤真二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 286
3. 書名 中国北部の旧石器文化	

1. 著者名 鈴木美保	4. 発行年 2020年
2. 出版社 小平市教育委員会	5. 総ページ数 238
3. 書名 鈴木遺跡にみる居住形態の推移2 AT降灰以後 『東京都小平市鈴木遺跡発掘調査総括報告書』	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2020年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 282
3. 書名 製作痕跡の分析による尖頭器製作技術の解明 長野県伊那市神子柴遺跡出土資料を対象として 『石器痕跡研究の理論と実践』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 168
3. 書名 飼い猫の始まり-遺跡が伝える新石器時代の人猫交流 『猫と東大』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所	5. 総ページ数 83
3. 書名 東京大学による1950年代のイラン考古学調査とその後 『イラン文明を守る』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学生社	5. 総ページ数 352
3. 書名 「アシュール文化」など58項目 『旧石器考古学辞典四訂版』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 826
3. 書名 出アフリカ-オリエントに足を踏み入れた最初のホモ・サピエンス集団 『中東・オリエント文化事典』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 鹿島学術振興財団	5. 総ページ数 382
3. 書名 第9回西アジア新石器研究国際会議 『第44回2019年度年報（公益財団法人鹿島学術振興財団）』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 288
3. 書名 旧人と新人の文化 『人間の本質に迫る科学』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 第28回西アジア発掘報告会の開催にあたって『第28回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 南コーカサス地方の新石器時代 アゼルバイジャン発掘調査2008-2019年『第28回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2012-2019年)『第28回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 敬文舎	5. 総ページ数 407
3. 書名 第2章 愛鷹第1期における狩猟採集集団の技術と行動『愛鷹山麓の旧石器文化』	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 282
3. 書名 台形様石器の分析からわかる初期現生人類の技術と行動 『石器痕跡研究の理論と実践』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築5 (パレオアジアA01班2020年度研究報告)	

1. 著者名 上峯篤史・王 法崗・渡邊貴亮・高木康裕・麻柄一志・菊地大樹・覚張隆史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 西白馬営：泥河湾盆地におけるMIS3の鋸歯縁石器群 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 加藤真二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 華北におけるMIS3の大型石器インダストリー 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	



1. 著者名 国武貞克	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 中央アジア西部における初期後期旧石器時代（IUP期）石器群の追求と日本列島到来の可能性『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 澤藤りかい・薦谷 匠・石田 肇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 アジア東部のホモ属に関するレビュー『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 高倉 純・鈴木建治	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 北アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組みの構築 研究の経過と課題 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 竹花和晴	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 ネアンデルタール人からクロマニヨン人に至る象徴的思考、特に洞窟壁画の誕生と展開について『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 仲田大人	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 人口モデルと日本旧石器考古学 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 はじめに 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築-2020年度の取り組み 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 麻柄一志	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 侯家窟（許家窟）（1）遺跡をめぐる諸問題 - 中国の中期旧石器文化はどこから来たか？ 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 東南アジアにおける初期現生人類の資源利用と技術 『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 国武貞克	4. 発行年 2021年
2. 出版社 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	5. 総ページ数 38
3. 書名 中央アジア旧石器研究報告第 6 冊 ユーラシア東半部における後期旧石器文化の開始と展開	

1. 著者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Elsevier Ltd.	5. 総ページ数 96
3. 書名 Time uncertainty, site formation Multidisciplinary Approaches in the Definition of High-resolution Events to Interpret Past Human Behaviour: A New Challenge in Archaeology. Quaternary International 474	

1. 著者名 Nakata, I., Y. Nishiaki, T. Odaka, M. Yamada, and S. Yamada (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本オリエント学会	5. 総ページ数 290
3. 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa. Orient, Supplement I.	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Paris: CNRS	5. 総ページ数 511
3. 書名 Near Eastern Lithics on the Move: Interaction and Contexts in Neolithic Traditions.	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Tokyo: Rokuichi-Shobo	5. 総ページ数 362
3. 書名 Decades in Deserts Essays on West Asian Archaeology in Honor of Professor Sumio Fujii	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 464
3. 書名 Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 464
3. 書名 Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	

1. 著者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・赤司千恵・新井オニ・桐原弘亘	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア学会	5. 総ページ数 118
3. 書名 第26回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリプジャノフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・E. グロディーヴァ・仲田大人・新井オニ・野口淳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア学会	5. 総ページ数 118
3. 書名 第26回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 300
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岡山市オリエン特美術館・古代オリエン特博物館	5. 総ページ数 230
3. 書名 シルクロード新世紀	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 159
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築 2018年度研究報告	

1. 著者名 三國博子・清田 馨・佐々木猛智・池田 博・西秋良宏（編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 173
3. 書名 東京大学総合研究博物館所蔵小堀巖教授旧蔵沙漠誌コレクション目録 第2部 自然地理資料（標本資料報告第117号）	

1. 著者名 山岡拓也・萩原涼太	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本考古学協会2018年度静岡大会実行委員会	5. 総ページ数 400
3. 書名 境界の考古学 日本考古学協会2018年度静岡大会研究発表資料集	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本考古学協会2018年度静岡大会実行委員会	5. 総ページ数 400
3. 書名 境界の考古学 日本考古学協会2018年度静岡大会研究発表資料集	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2018年
2. 出版社 六一書房	5. 総ページ数 528
3. 書名 東北日本の旧石器時代	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京都埋蔵文化財センター	5. 総ページ数 321
3. 書名 府中市武蔵台遺跡・武蔵国分寺跡関連遺跡 第1分冊	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2018年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 304
3. 書名 日本考古学・最前線	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ふじのくに地球環境ミュージアム	5. 総ページ数 96
3. 書名 ふじのくに地球環境史ミュージアム企画展図録 先史時代の輝き 旧石器・縄文時代の人と環境	

1. 著者名 山岡拓也・池谷信之・静岡大学地域創造研究センター	4. 発行年 2018年
2. 出版社 静岡大学地域創造教育センター	5. 総ページ数 68
3. 書名 静岡大学公開講座ブックレット10 ふじのくにのホモ・サピエンス～3万5千年前の遺跡から現代人的行動を探る～	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 静岡県考古学会2017年度シンポジウム実行委員会	5. 総ページ数 72
3. 書名 静岡県考古学会2017年度シンポジウム（日本考古学協会2018年静岡大会プレシンポジウム）境界（はざま）の考古学	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2017年
2. 出版社 考古学研究会東海例会	5. 総ページ数 62
3. 書名 第29回考古学研究会東海例会 東海中西部の旧石器編年とその特質	

1. 著者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Universite de Liege	5. 総ページ数 386
3. 書名 Vocation Prehistoire -Hommage a Jean-Marie Le Tensorer, ERAUL 148	



1. 著者名 Nishiaki, Y. and M. Le Miere	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Oxford: Oxbow Books	5. 総ページ数 196
3. 書名 The Emergence of Pottery in West Asia: The Search for the Origin of Pyrotechnology	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Cambridge: Cambridge University Press	5. 総ページ数 784
3. 書名 Quaternary of the Levant: Environments, Climate Change, and Humans	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and T. Akazawa	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, W.-L. Chan, S. Kadowaki, M. Naganuma, R. O'ishi, T. Oguchi, Y. Nishiaki and M. Yoneda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所・帝京大学シルクロード総合学術研究センター編	5. 総ページ数 100
3. 書名 第一回シルクロード学研究会報告集	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所・帝京大学シルクロード総合学術研究センター編	5. 総ページ数 96
3. 書名 2016年度中央アジア遺跡調査報告会資料集	

1. 著者名 西秋良宏・三國博子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 145
3. 書名 小堀巖教授旧蔵沙漠誌コレクション目録第1部：考古民族資料 東京大学総合研究博物館標本資料目録第111号	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 303
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 303
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・仲田大人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会編	5. 総ページ数 127
3. 書名 考古学が語る古代オリエント-第25回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井才二・池山史華	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会編	5. 総ページ数 127
3. 書名 考古学が語る古代オリエント-第25回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2017年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 382
3. 書名 安蒜政雄先生古希記念論文集刊行委員会編「旧石器時代の知恵と技術の考古学」	

1. 著者名 澤藤りかい・木村亮介・太田博樹・石田 肇	4. 発行年 2018年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 112
3. 書名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学 A01班2017年度研究報告	

1. 著者名 高倉 純・鈴木建治	4. 発行年 2018年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 112
3. 書名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学 A01班2017年度研究報告	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 112
3. 書名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学 A01班2017年度研究報告	

1. 著者名 松藤和人・麻柄一志・加藤真二・竹花和晴・中川和哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 112
3. 書名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学 A01班2017年度研究報告	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 112
3. 書名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学 A01班2017年度研究報告	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 373
3. 書名 Quaternary Environments, Climate Change, and Humans in the Levant, edited by Y. Enzel and O. Bar-Yosef	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 460
3. 書名 A History of Syria in One Hundred Sites, edited by Y. Kanjou and A. Tsuneki	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 460
3. 書名 A History of Syria in One Hundred Sites, edited by Y. Kanjou and A. Tsuneki	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 株式会社shiki	5. 総ページ数 118
3. 書名 『キルギスとその周辺地域における遊牧社会の形成』大沼克彦・久米正吾編	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 311
3. 書名 『UMUTオープンラボ-太陽系から人類へ UMUT Hall of Inspiration』東京大学総合研究博物館編	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2016年
2. 出版社 六一書房	5. 総ページ数 276
3. 書名 『晩氷期の人類社会-北方先史狩猟採集民の適応行動と居住形態』佐藤宏之・山田 哲・出穂雅実編	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2017年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 382
3. 書名 『旧石器時代の知恵と技術の考古学』安藤政雄先生古希記念論文集刊行委員会編	

1. 著者名 Matsufuji, K. and A. Uemine (eds.)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Doshisha University Archaeological Laboratory	5. 総ページ数 8
3. 書名 Kizaki-Komaruyama Early Paleolithic Site on the central highlands, Japan.	

1. 著者名 西秋良宏（編）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 122
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築』1。「パレオアジア」A01班 2016年度研究報告	

1. 著者名 松藤和人	4. 発行年 2017年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 122
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築』1。「パレオアジア」A01班 2016年度研究報告 西秋良宏（編）	

1. 著者名 山岡拓也	4. 発行年 2017年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 122
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築』1。「パレオアジア」A01班 2016年度研究報告 西秋良宏（編）	

1. 著者名 高倉 純	4. 発行年 2017年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 122
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築』1。「パレオアジア」A01班 2016年度研究報告 西秋良宏（編）	

1. 著者名 石田 肇・當山武知・石田浩太郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 秋田活版印刷	5. 総ページ数 122
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築』1。「パレオアジア」A01班 2016年度研究報告 西秋良宏（編）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>パレオアジア文化史学 - アジア新人文化形成プロセスの総合的研究  <a href="http://paleoasia.jp/">http://paleoasia.jp/</a>          東京大学総合研究博物館 西秋研究室  <a href="http://nishiaki-labo.jp/index.html">http://nishiaki-labo.jp/index.html</a></p>
--



## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 真二 (Kato Shinji) (20261125)	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・企画調整部・部長 (84604)	
研究分担者	高倉 純 (Takakura Jun) (30344534)	北海道大学・埋蔵文化財調査センター・助教 (10101)	
研究分担者	山岡 拓也 (Yamaoka Takuya) (30514608)	静岡大学・人文社会科学部・准教授 (13801)	
研究分担者	石田 肇 (Ishida Hajime) (70145225)	琉球大学・医学(系)研究科(研究院)・教授 (18001)	
研究分担者	松藤 和人 (Matsufuji Kazuto) (90288598)	同志社大学・文学部・教授 (34310)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計11件

国際研究集会 The 9th International Conference of the Pre-Pottery Neolithic Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (PPN9)	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 International Workshop: Early Farming Societies of the Southern Caucasus: 10 Years of Archaeological Discoveries of Japanese and French Expeditions	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The Emergence and Dispersal of Homo sapiens in Indo Pacific region	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 PaleoAsia2018 International Workshop	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 Becoming Specialists. From Imitation to Professionalism: A Palaeolithic to Neolithic Perspective	開催年 2018年～2018年

国際研究集会 Comparative studies of hunter-gatherers in Asia: from nomadic to sedentary lifestyles for long-term periods	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 International Seminar: Novel 3D, Geometric Morphometric and Multivariate Approaches to Lithic Analysis	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International Workshop: Across the Movius Line -Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International Seminar: From Kazah to Japan, Supra-regional chronology of the Middle to Upper Palaeolithic (ユーラシア広域編年の可能性)	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 International Seminar: Food Globalization in Prehistory	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 国際セミナー2017『東アジアにおけるホモ・サピエンス出現前後の考古学』	開催年 2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
アゼルバイジャン	考古学民族学研究所	文化観光省	国立歴史民族学研究所	他1機関
イラン	イラン国立博物館	ラージ大学	国立考古学研究所	
ウズベキスタン	ウズベキスタン歴史博物館			
ドイツ	ローマゲルマン考古学博物館			
英国	マンチェスター大学	リバプール大学		
中国	北京大学考古文博学院			
カザフスタン	カザフスタン科学アカデミー	カザフスタン国立大学		